

技術・家庭 (家庭分野)

東京書籍

教育図書

開隆堂

令和6年度

中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会

種目（技術・家庭【家庭分野】）

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が自ら問題発見ができるように、生徒の「問い」を引き出す問題発見・課題設定が編扉ページでされている。 ・ 主体的・対話的な学習を促し、深い学びにつなげるために、活動例や「生活の課題と実践」等、様々な場面で思考ツールが用いられている。 ・ 生活の中から課題を見つけ、実践を通して解決し、生活に生かすことができるように、問題を解決する道筋をガイダンスの中で具体例を用いてわかりやすくしている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 編の始めに、小学校で学んだことや見方・考え方・機能等が明記されている。また、複数の問いがあり、課題設定を書きこむことができる欄が設けられている。 (2) 全体を通して、生徒の問いを引き出すように、①4つの見方・考え方をマークで表現②編扉ページのキャラクターのせりふ③レッツスタートと学習課題④学習のまとめと生活の課題と実践で構成されている。 (3) 調理実習では、見開きページに大きな献立の写真を配置し、生徒が到達目標をイメージできるように工夫されている。また、豊富な実習例により、生徒の実態に合わせた選択ができるように工夫されている。 (4) 調理実習のページでは、食物アレルギーの原因となる食品に印をつけることで、自分自身や他者の安全を意識した食品選択が追究できるように配慮されている。 (5) ユニバーサルデザインフォント等、全ての生徒にとって読みやすく工夫されている。また、挿絵、写真、図表、配色等が鮮明で、生徒の学習意欲を高めるよう配慮されている。ページの左右にインデックスがあり、生徒が学習するページを開きやすいように配慮されている。 (6) 基本ページでは生徒が毎時の学習内容を一目で見渡せるように、見開きで構成されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「リンクマーク」により、他の内容や他教科との結びつきを示し、学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるよう配慮がなされている。 (2) 「資料」の図表や「せいかつメモ」、環境等各種マークにより、生徒の家庭生活や地域の行事等に関連づけて指導できるよう配慮されている。 (3) 防災、減災の学習において、身近な災害や実体験を取り上げた安全教育の実践等、生徒の実態に合わせた題材の取り扱いができるように配慮されている。 (4) 生活を見つめ、個別や集団で学びながら知識及び技能を高め、資質・能力の向上につながるように学習が配列されている。各編のまとめでは、学びを生活に返し、家庭との連携に発展する内容で構成されている。 (5) 手ばかり目ばかりの手法で食品の概量が実物大写真で掲載されており、食材の量感を捉えられるように工夫されている。 (6) 各編末の「学習のまとめ」では、各学習内容における興味・関心をもったことや自分なりの課題を書く記述欄が設けられており、「生活の課題」と「実践のテーマ」につなげることができるようになっている。 (7) 各節の「レッツスタート」や「やってみよう」で、様々な思考ツールが取り上げられ、物事を考えたり意見を整理したりする際に有効である。そのツールを活用し、生徒が主体的・協働的に学習活動に取り組めるよう、配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ QR コンテンツが 373 コンテンツととても充実しており、多くの選択肢の中から生徒が主体的に選択することができ、自由進度学習に対応することができる。 ・ 全ての生徒の学習しやすさを考慮し、ダイバーシティへの配慮をしている。（左利きへの対応、共生への配慮等） ・ 各編末に SDGs について考える章が新設されており、これからの生きる生徒が学習で得た見方・考え方を SDGs につなげて考えることができる。

種目（技術・家庭【家庭分野】）

発行者名 採択基準	教育図書（新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的な知識及び技能を身につけられるような配慮がなされている。 ・「学びを生かそう」などを活用し、問題解決的な学習を行い生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮がなされている。 ・学習に関わりのある地域や社会の人々のメッセージを示し、生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等	(1) 内容を学習指導要領の記載に沿って配置し、それぞれを相互に関連付けて発展的な学習ができるよう題材配列の工夫がなされている。 (2) 吹き出しで口語を添えることで注目しやすい写真やイラスト、各章の導入の身近な生活の問題から「やってみよう」「学びを生かそう」の学習の流れで、生活を工夫し創造できるよう題材構成がなされている。 (3) 各章の導入に「自立度チェック」を示し、家庭生活を実感的に捉えられるように配慮がなされている。 (4) 「実習は安全に取り組もう！」や、各内容実習例に「安全」や「衛生」のマークを付し、安全面や衛生面への配慮がなされている。 (5) 各内容や説明に関連した実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが随所に掲げられ、生徒の学びへの意欲を高める配慮がなされている。調理実習においては、手順が写真と共に縦に並べられ、生徒が見やすいように配慮されている。 (6) 「センパイに聞こう！」では、防災アプリの開発者や男性の保育士、日本最高齢のフィットネスインストラクターなど、現代に生きる生徒が指標とできるような人材を紹介することで、見方や考え方を広げ、深められるような工夫がなされている。 (7) 「資料」では、中学生が地域を支えるボランティアの紹介、子ども食堂、災害時の食生活、非常時の衣生活、クレジットカードの取り扱いなどこれからの時代に密接にかかわる内容を扱い、生徒の生きる力を育む工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 「関連」のマークにより、他の内容や他教科との結び付きを示し、学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるよう配慮がなされている。 (2) 「学びを生かそう」や巻頭頁の写真やイラストにより、生徒の家庭生活や地域の行事等の関連に応じられるように配慮がなされている。 (3) 「見つめる」で、「生活の営みに係る見方・考え方」の視点を用いて生活事象をとらえ、主体的に相互に関わりながら活動できるよう生徒の実態に合わせた題材の取り扱いがなされている。 (4) 「見つめてみよう」で個別や集団での学びを促し、「生活の課題と実践」で家庭と連携してできる内容で構成がなされている。 (5) 挿し絵・写真・図表等を適切に活用して、目からの情報においても課題解決につなげたり、情報を読み込むことも併せて、現代的な生活の課題を考えたりできるように配慮がなされている。 (6) 各章の学習内容の多くにおいて、見開きのまとまりで示されている。文章による説明と画像とのバランスが良く構成され、より多くの生徒の理解を促すことができるように工夫されている。また、各学習の「ふり返り」と、各章末に「学習のふり返り」により、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・章末の「学びを生かそう」で、これまでの学びを踏まえて問題発見、課題設定、課題解決への流れを示し、実践につながるよう工夫がなされている。 ・食品成分表では、食品名の横に6つの食品群を示し、どの食品が何群にあたるのか理解を促す工夫がなされている。 ・ユニバーサルデザインのフォントを使用し、重要な語句は青色で示すことで、特別支援学級の生徒を含めた多くの生徒に読みやすく配慮されている。 ・使用している画像やイラストは、時代背景を考慮し、ジェンダー、高齢者に対する固定観念を払拭できる配慮がなされている。

種目（技術・家庭 【家庭分野】）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>開隆堂（技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的・体験的な活動を通して学ぶことができる工夫がされている。 ・ 具体的な事例から中学生に問いかける内容となっており、問題解決の学習の流れになっている。 ・ 生活の見方・考え方を働かせながら学びを深める配慮がされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章の始めに、小学校で学んだ事やこの章で学習する内容が明記されており、振り返りと学習の見通しがもてる工夫がされている。 (2) 内容毎に「問い」があり、自分事として学習を進めることができる配慮がされている。 (3) 多様な人を（高齢者、外国人、車いすを利用する人など）取り上げ、共生について考え、関心がもてる工夫がされている。 (4) SDG's マークを使い、生徒自らが実践できる方法を示し、生活に関係して考えることができる配慮がされている。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう、重要語句は UD ゴシック太字で示され、どこに注目して本文を読めば良いかがわかりやすく、ルビも多く使われている。配色に至っては、視覚に不安のある生徒に対し配慮がされている。 (6) 写真やイラストが多く使われ、言葉の理解を支えている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章末にはまとめとして、振り返りページがあり 3 観点に分けられている。思考判断表現では、資料をもとに生活に生かすための行動の見通しをもつことができるよう考えを求めている。 (2) 脚注に「豆知識」「先輩からエール」「地域の取り組み」など本文の内容を補足したり、進路や将来に関連づけたりできる工夫がされている。 (3) QA 形式やデジタルコンテンツを多用し、自身の生活で起こりうる事象を想定して考えることができる。また、必要な情報を精選して得られるリンクの貼り付けなどの工夫がされている。 (4) 生徒実態の違いに対応し、個で考える場とグループで考える場を設けている。 (5) 実物大で食品などを掲載し、イメージのもちやすさを工夫している。 (6) 基本ページは見開きで 1 時間の内容に見通しがもて、まとめや評価も観点が明確になる工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マークで伝統文化や他教科との関連がわかりやすく示されている。 ・最新情報を掲載し、科学的根拠に基づいて理解できるよう工夫がされている。